

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」

【施策名：（１）工事コストの低減 １）工事の計画・設計等の見直し ④技術開発の推進】

竹割り型構造物掘削工法の採用によりコスト削減

工事名：一般国道44号 釧路町 オビラシケ川橋P3工事

概要：（従来）切土掘削＋法面保護工 ⇒ （今回）竹割り型構造物掘削工法

効果：

- 地山の掘削面積を最小限に抑えられるため、自然環境に与える影響が小さくできる。
- 長大な人工斜面の維持・管理費が不要。

■ 工事費を、69百万円から53百万円に縮減

（縮減額 16百万円 縮減率 約23%）

竹割り型構造物掘削工法・・・急傾斜地において構造物等を築造する場合に用いる土留め工法。鉄筋補強と吹付けコンクリートで周辺地山を補強しながら地山を垂直に掘り下げる土留め工法。

